

北澤 裕 教授 略歴・業績

略歴

- 1950年 長野県生まれ
- 1974年 早稲田大学第一文学部社会学専攻卒業
- 1974年 大日本印刷株式会社勤務（～1977年）
- 1977年 早稲田大学大学院文学研究科社会学専攻修士課程入学
- 1978年 早稲田大学商学部副手（～1983年）
- 1979年 早稲田大学修士号取得
- 1979年 早稲田大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程入学
- 1983年 早稲田大学社会科学研究所研究員（～1985年）
- 1984年 長野大学産業社会学部非常勤講師（～1988年）
- 1985年 早稲田大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程退学
- 1986年 群馬大学教養部非常勤講師（～1988年）
- 1987年 早稲田大学教育学部非常勤講師
- 1988年 同専任講師
- 1990年 同助教授
- 1997年 同教授
- 1998年 日本現象学・社会科学会理事（～2005）
- 1999年 『文化と社会』編集委員（～2009）
- 2005年 早稲田大学博士号（文学）取得
- 2007年 日本学術振興会審査委員（～2009年）

主要業績

〈著書〉

- （単）『眼差しの世界：視覚社会学の展開』2017年6月，三和書籍
- （共）『よくわかるメディア・スタディー』2009年2月，ミネルヴァ書房
- （共）『風景の意味：理性と感性』2007年2月，三和書籍
- （共）『総合的な学習の時間』2006年7月，学文社
- （単）『視覚とヴァーチャルな世界：コロンブスからポスト・ヒューマンへ』2005年9月，世界思想社
- （共）『市民社会と批判的公共性』2003年3月，文眞堂
- （共）『クロニクル社会学』1997年3月，有斐閣

- (共)『ライフスタイルと社会構造』1996年5月, 日本評論社
- (共)『危機と再生の社会理論』1993年5月, マルジュ社
- (共)『社会学理論のリアリティ』1991年4月, 八千代出版
- (共)『日常生活と社会理論』1987年7月, 慶應通信
- (共)『現象学的社会学 意味へのまなざし』1985年4月, 三和書籍

〈翻訳〉

- (共)『会話分析の手法』1998年11月, マルジュ社
- (共)『日常性の解剖学：知と会話』1989年4月, マルジュ社

〈辞典〉

- (共)『新社会学辞典』1993年2月, 有斐閣

〈論文〉

- (単)「世界の自己化は自己の世界化：視的一元性」教育学研究紀要 No. 27, 2016年
- (単)「フェティッシュと仮面2：接続, 接続, 接続……」教育学研究紀要 No. 24, 2014年
- (単)「フェティッシュと仮面1」教育学研究紀要 No. 23, 2013年
- (単)「物語の視覚 リマソン・ループと＜世界製作＞」教育学研究紀要 No. 22, 2012年
- (単)「＜器官なき身体＞への眼差し」教育学研究紀要 No. 21, 2011年
- (単)「凝視の廃位：観光のクリナメンと視覚のアウラ2」学術研究 58 号, 2010年
- (単)「＜旅＞を眺める：観光のクリナメンと視覚のアウラ1」教育学研究紀要 No. 20, 2010年
- (単)「＜比性＞の体験：視覚と表象」学術研究 57 号, 2009年
- (単)「＜夢見る瞳＞と＜旅する眼＞：旅行のイメージ」教育学研究紀要 No. 19, 2009年
- (単)「象徴と真正性：シュレーバーではなく TOYS”R”US」教育学研究紀要 No. 17, 2007年
- (単)「ポストモダニティと市民生活」教総研企画研究, 2006年
- (単)「テクノロジーのイドラ＜ヴァーチャル＞：胡蝶から雀蜂へ」教育学研究紀要, No. 15, 2005年
- (単)「パノラマ・ビューの自然と世界：パノラマビジョンの世界1」学術研究 52 号, 2004年
- (単)「円環の世界とヴァーチャル・パノラマ：パノラマビジョンの世界2」教育学研究紀要 No. 15, 2004年
- (単)「ヴァーチャルな文化の視覚と自我：デカルトの墜落」文化と社会 No. 3, 2002年
- (単)「可視性の幾何学：視覚理論による近代の展開」教育学研究紀要 No. 11, 2001年
- (単)「近代を開いた眼：視覚社会の濫觴」学術研究 49 号, 2001年
- (単) The Accountability of Hand-Drawn Maps and Rendering Practices, Human Studies Vol. 22, 1999
- (単) Representation of Space and Rendering Practices: An Ethnomethodological approach,

Ethnomethodology and Conversation Analysis, 1998.

- (単)「科学的ワークのテクニカルティ：エスノメソドロギーは科学をどう捉えるか」社会科学討究 116 号, 1994年
- (単)「空間表象とレンダリング・プラクティス：エスノメソドロジカル・アプローチ」社会学年誌 34 号, 1993年
- (単) Local Interactional Production of the Rational Practice of Consumption, Human Studies Vol. 15, 1992
- (単)「現実社会の構成とエスノメソドロギー」社会学評論 40 巻 1, 1989年
- (単)「合理的行為の遂行とアドホックな知識」学術研究 37, 1988年
- (単)「ドクサの正当性：言語行為の社会性と記述」文学研究科紀要 11, 1984年
- (単)「パーソンズ理論とエスノメソドロギー：主観性問題に関する方法分析をめぐって」社会学評論 35 巻 1, 1983年
- (単)「行為の合理性に関する構造論的シンボリズム」社会学年誌 21 号, 1980年

他

〈科学研究費〉

- (共) 高度情報化社会に必要な国語力としての視覚的リテラシーをデザインした系統表の開発, 2009年～2011年
- (単) ヴァーチャル化される精神とリアルな世界：視覚社会学の視点, 2008年～2011年
- (単)「ポスト・ヒューマン」の眼と現実：視覚とヴァーチャリティ, 2005年～2006年
- (単) ヴァーチャル・リアリティと視覚文化：視覚と自我の変容, 2002年～2004年
- (共) 文化諸科学におけるシュッツ理論の重要性をめぐり国際シンポジウムのための準備研究, 1999年